

能美根上スマートICの利用状況と整備効果について

目 次

1. 能美根上スマートICの利用状況
2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果
3. 利用者アンケート結果
4. 事業所アンケート結果
5. 能美根上スマートICのストック効果

令和元年8月

1. 能美根上スマートICの利用状況

1-1. 施設概要など

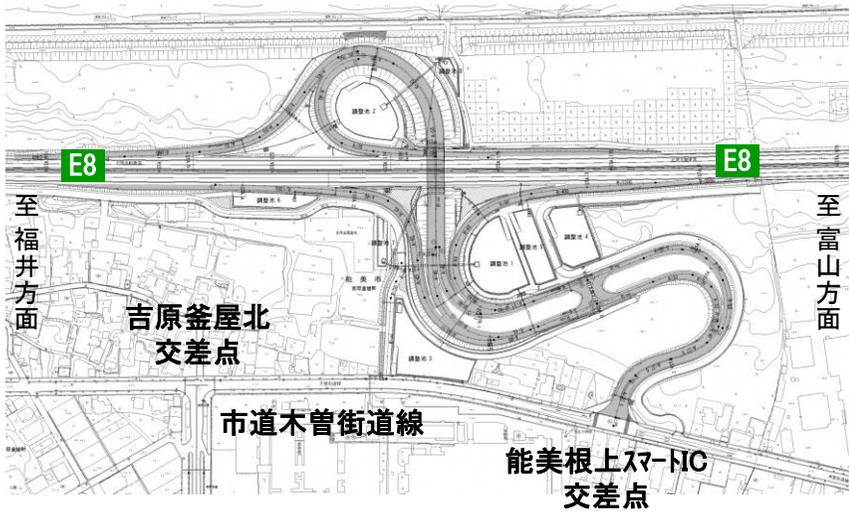
【航空写真】



【位置図】



【平面図】



【概要】

位 置	: E8北陸自動車道 小松IC～美川IC間
営業時間	: 24時間
利用車種	: ETC車載器を搭載した全車種
運用形態	: フル方向
形 式	: 本線直結型
開 通 日	: 平成30年 3月25日(日)

1. 能美根上スマートICの利用状況

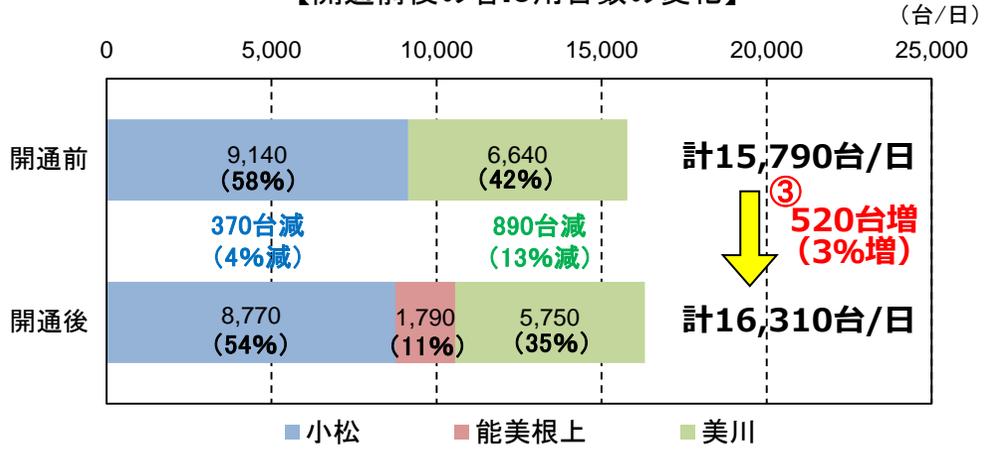
1-2. 開通後一年間の利用状況

- ①開通後、1年間(平成30年3月25日～平成31年3月24日)の平均利用台数は約1,790台/日
- ②平成31年2月末には累計60万台に到達
- ③前後ICを含んだ利用台数は、**520台/日増加(3%増)**し、**周辺地域における高速道路の利便性が向上**

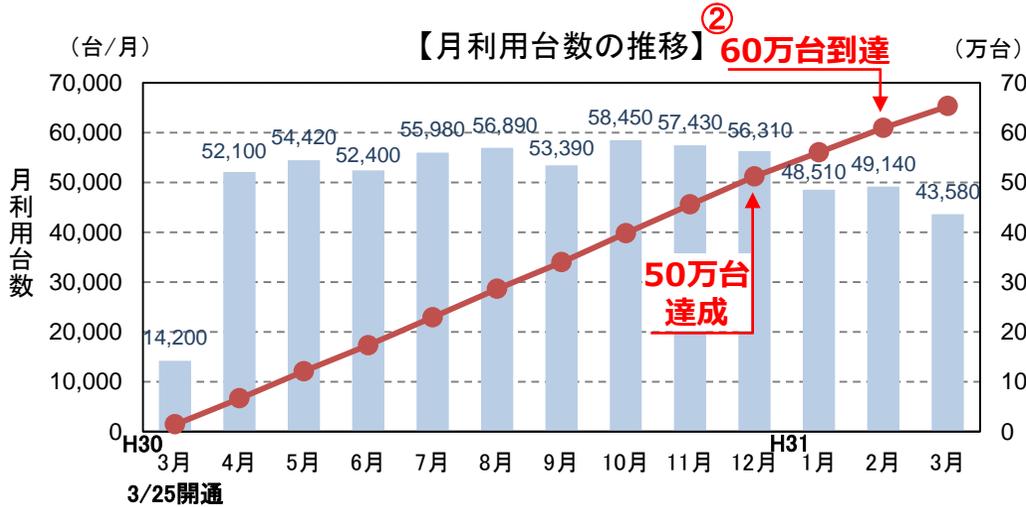
【日平均利用台数の推移】



【開通前後の各IC用台数の変化】



【月利用台数の推移】



※集計期間：平成30年3月25日～平成31年3月24日
 ※四捨五入により合計は一致しない場合がある

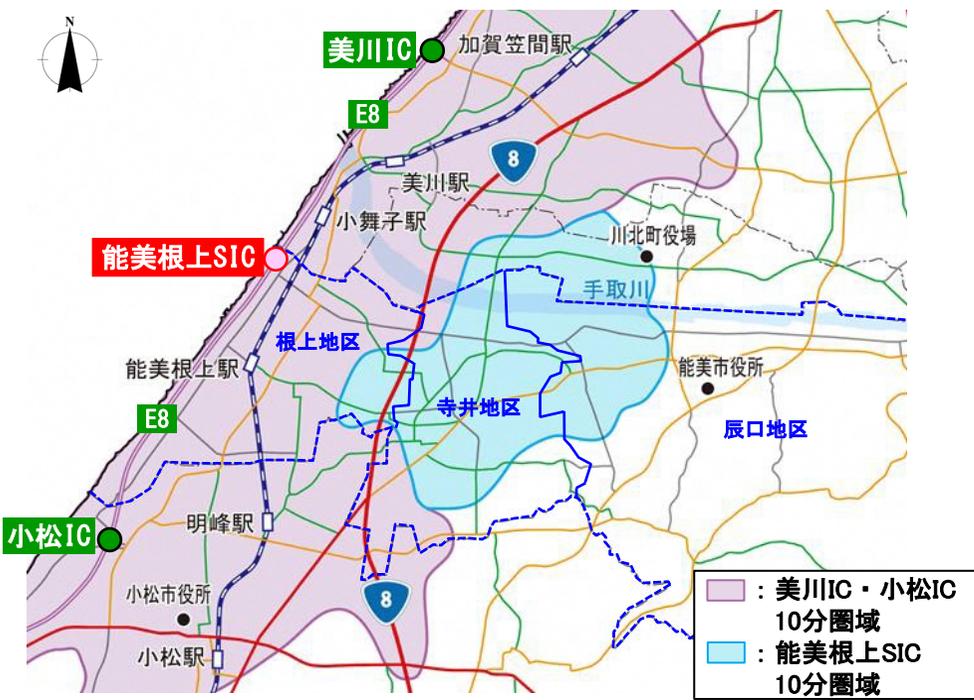
データ出典：中日本高速道路(株)

2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果

2-1. 高速道路利用者の利便性向上

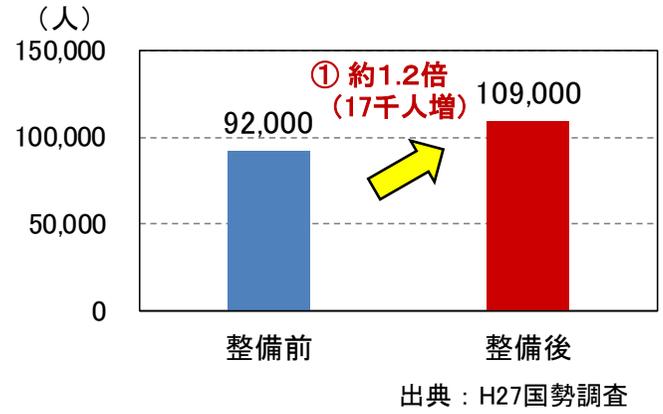
- ① 能美根上スマートICの開通により、北陸自動車道ICへの10分アクセス圏域が拡大し、**圏域人口が約1.2倍(17千人増)に増加**
- ② 能美市内においては、**10分圏域人口カバー率が36%から66%に拡大**し、高速道路利用者の利便性が向上

【北陸自動車道ICへの10分アクセス圏域図】

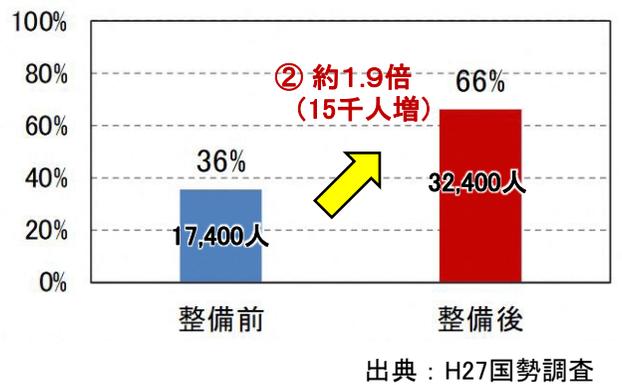


資料提供：金沢河川国道事務所（ETC2.0）
 美川IC、小松IC：H29年4～12月、平日7～19時
 能美根上SIC：H30年4～12月、平日7～19時

【10分アクセス圏域の総人口】



【能美市内の10分圏域人口カバー率】



2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果

2-2. 産業の活性化

○能美根上スマートICの開通により、臨海部をはじめ手取川沿いなどの内陸部や丘陵部に点在する市内工業団地などへの北陸自動車道からのアクセス性が向上し企業活動を支援

臨海部(根上地区) : 「浜町・道林町工業団地など」では金沢・富山方面のアクセス時間 約7分短縮
 内陸部(寺井地区) : 「粟生工業団地など」は金沢・富山と加賀・福井の両方面のアクセス時間 5分以上短縮
 丘陵部(辰口地区) : 「いしかわサイエンスパーク」は加賀・福井方面のアクセス時間 約3分短縮

【主な工業団地と北陸自動車道ICへの10分アクセス圏域図】



㈱アイ・オー・データ機器物流センター



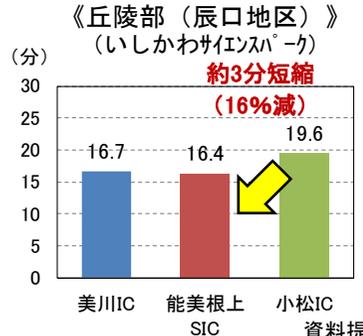
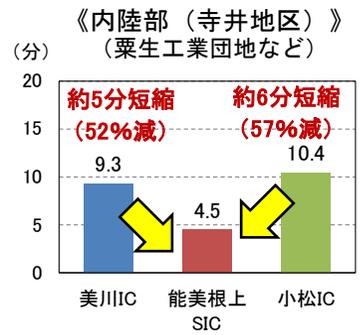
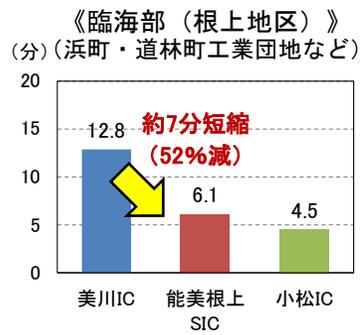
日本ガイシ(株)石川工場



いしかわサイエンスパーク



【北陸自動車道から工業団地へのアクセス時間】



能美根上SICを利用する能美工業団地内の運輸会社車両



資料提供: 金沢河川国道事務所 (ETC2.0)
 美川IC、小松IC: H29年4~12月、平日7~19時
 能美根上SIC: H30年4~12月、平日7~19時



- ・富山方面へ向かう時や、富山方面から帰社する場合、約5分程度短縮し、大変便利になりました。(15分、30分短縮の意見もあり)
- ・運行時間の予測が立てやすくなりました。
- ・ドライバーの負担が軽減しました。

能美市内事業所の声 (事業所アンケートより)

2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果

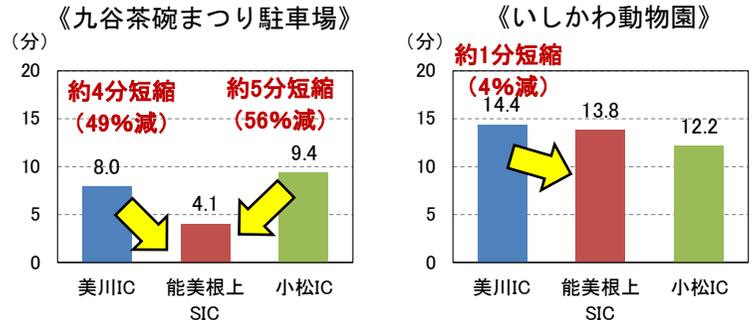
2-3. 観光振興の支援

○能美根上スマートICの開通により、北陸最大級の焼き物市である「九谷茶碗まつり」の駐車場(1,200台分)への北陸自動車道からのアクセス時間が4分以上短縮し、観光客の利便性が向上

【主要観光施設位置図】



【北陸自動車道から観光施設などへのアクセス時間】



資料提供：金沢河川国道事務所（ETC2.0）
 美川IC、小松IC：H29年5月3～5日、7～19時
 能美根上SIC：H30年5月3～5日、7～19時

《九谷茶碗まつり》

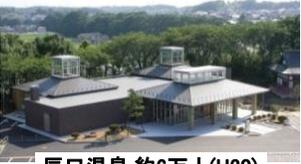
開催期間：毎年5月3～5日
 観光客数：17万人(H30)
 まつり会場：九谷陶芸村
 駐車台数：粟生工業団地 1,200台



約4万人(H30)
辰口温泉総湯 里山の湯



約26万人(H30)
いしかわ動物園



辰口温泉 約6万人(H30)



約32万人(H30)

出典：能美市



・九谷茶碗まつりの来場者から、「粟生の駐車場へのアクセスが容易になり便利になった」という意見を聞きました。
 ・観光客に対して観光施設へのルート案内が分かりやすくおこなえるようになりました。

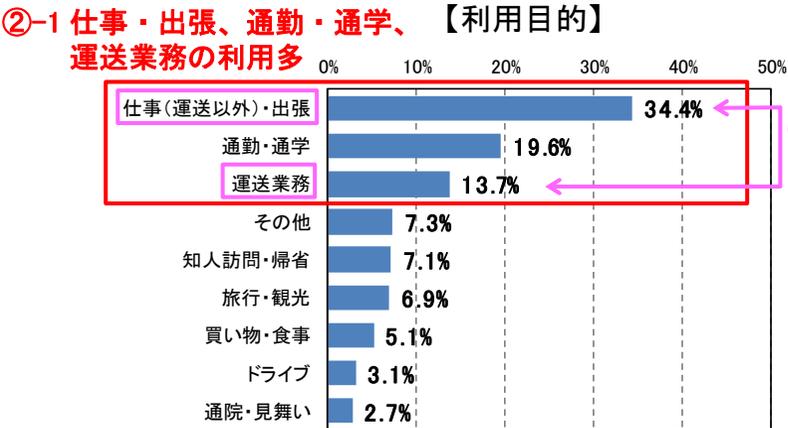
能美市観光物産協会の声

3. 利用者アンケート結果

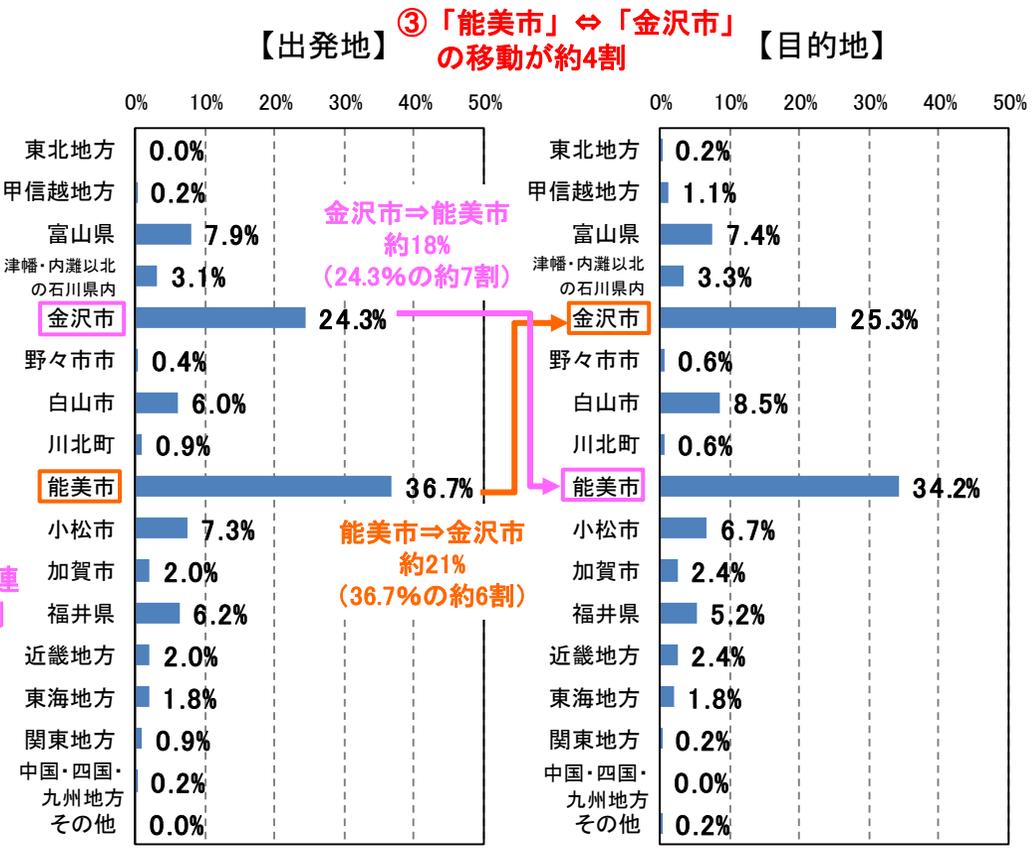
3-1. アンケート調査概要と利用状況

- ①能美根上スマートIC利用者に対してアンケート票を配布(平日・休日各2回)し、**557通(回収率22.5%)**の回答を得た
- ②利用目的は「**仕事(運送以外)・出張**」が約3割で最も多く、次いで「**通勤・通学**」が約2割、「**運輸業務**」が約1割の順に多く、**業務関連が約5割**を占めている
- ③出発地・目的地では、「**能美市**」⇄「**金沢市**」間の移動が約4割を占めている

調査対象	能美根上スマートIC利用者
調査方法	ゲート(2箇所)にて調査票を配布 郵送・Webで回収
調査日時	平成31年4月13日(土)~20日(土)配布 ※平日・休日各2回、AM7:00~PM5:30 令和元年5月7日(火) 締切
配布回収数	配布:2,479通 回収:557通 (郵送388通、Web169通) 回収率:22.5% ①



②-2 業務関連が約5割



3. 利用者アンケート結果

3-2. 利用頻度や時間短縮など

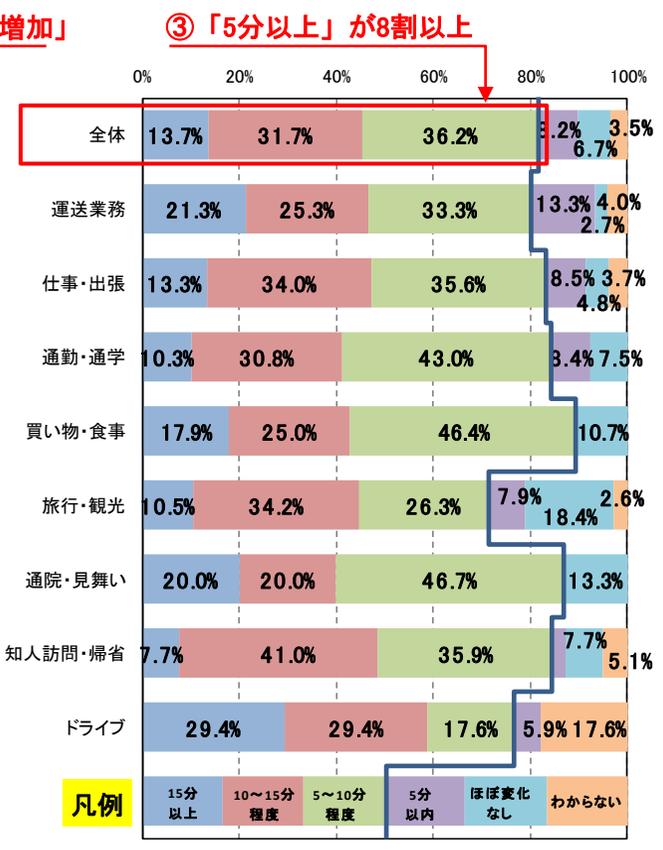
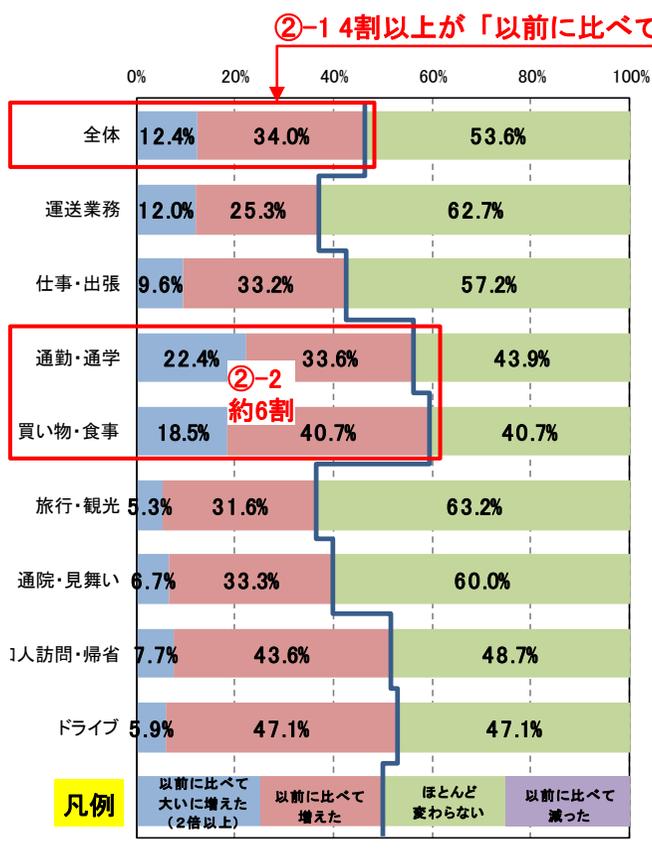
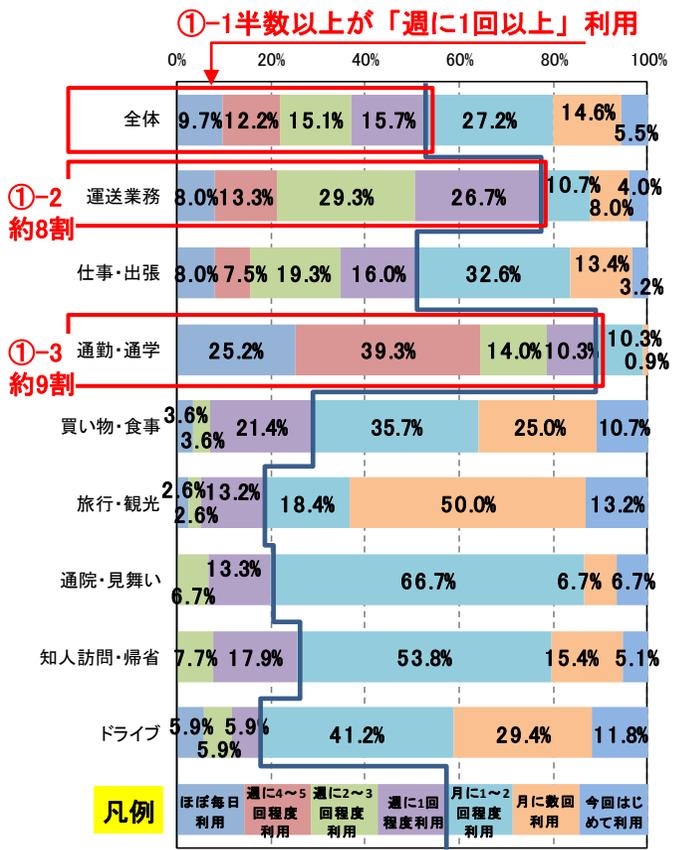
◆利用者の8割以上が5分以上の移動時間短縮を実感

- ①利用頻度は、半数以上が「週に1回以上」利用。目的別では「通勤通学」の約9割、「運送業務」の約8割が「週に1回以上」利用
- ②利用頻度の変化は、4割以上が「以前に比べて増加」しており、特に「通勤・通学」「買い物・食事」では約6割が増加
- ③移動時間の短縮は、8割以上が「5分以上の短縮」を実感

【利用頻度】

【利用頻度の変化】

【移動時間の短縮】



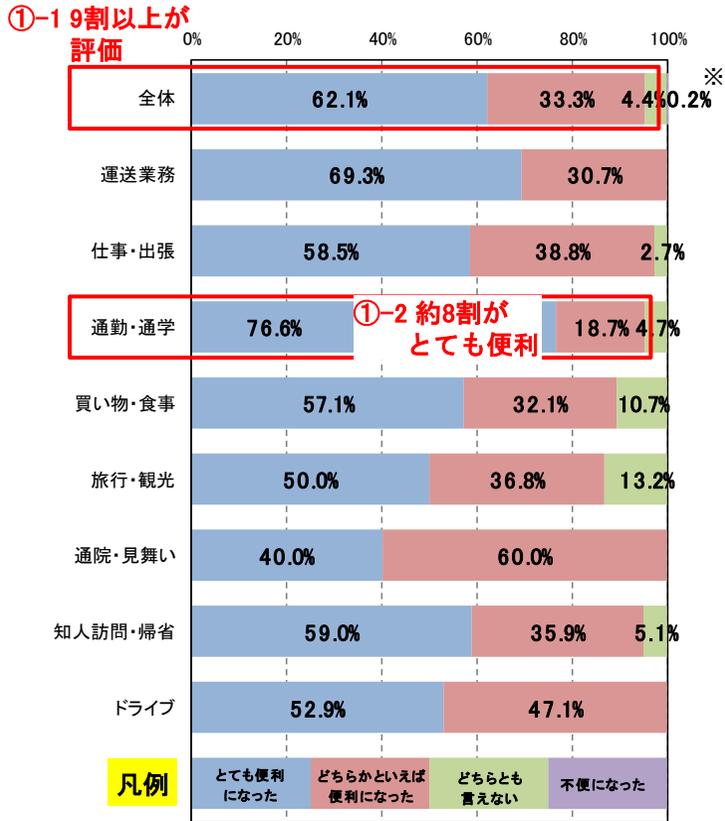
3. 利用者アンケート結果

3-3.利便性評価や効果項目など

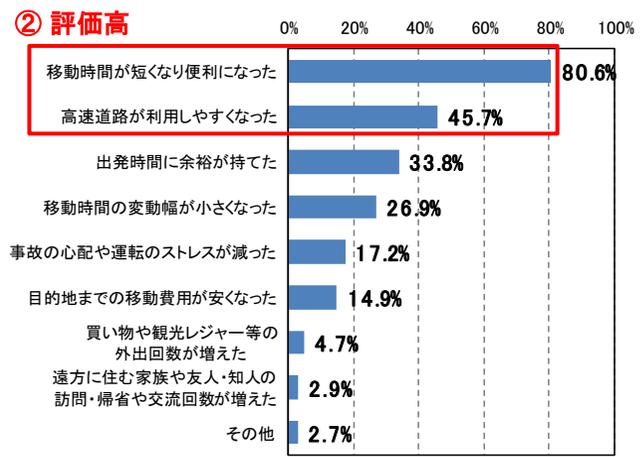
◆利用者の9割以上がスマートICが整備され便利になったと評価

- ①利便性の評価は、9割以上が「便利になった」と評価し、特に「通勤・通学」では約8割が「とても便利になった」と評価
- ②効果として、「移動時間が短くなり便利になった」が約8割で最も多く、次いで「高速道路が利用しやすくなった」が多い
- ③課題・問題点については、6割以上が「特にない(わからない)」であるが、「ICや観光地への案内」が各1割ある
- ④スマートICや周辺道路などに対する意見として、「案内標識の充実」や「休憩・商業施設の整備」などがある

【利便性評価】



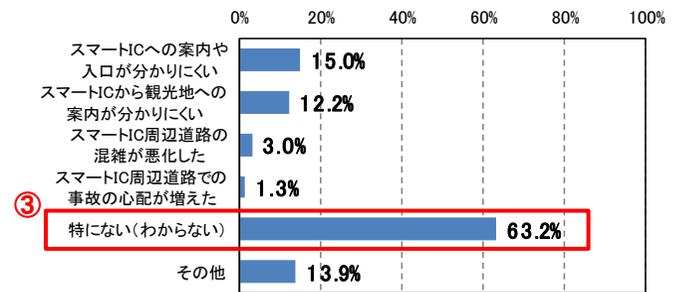
【効果項目】複数回答



【ICや周辺道路などに対する自由意見】

- ④
- ・国道8号や観光地への行き方が分かり難い。
 - ・コンビニ、飲食施設、トイレ、駐車場があるとよい。
 - ・IC出口から見える白山がきれい。調整池周りが殺風景。
 - ・IC前の市道が朝渋滞する。
 - ・ゲートの開閉速度が遅い。分岐の表示が分かり難い。

【課題・問題点】複数回答



※ 全体で「不便になった」という回答者の理由は、「ゲートの開閉が他のICのゲート（小松、美川）より遅く不便」

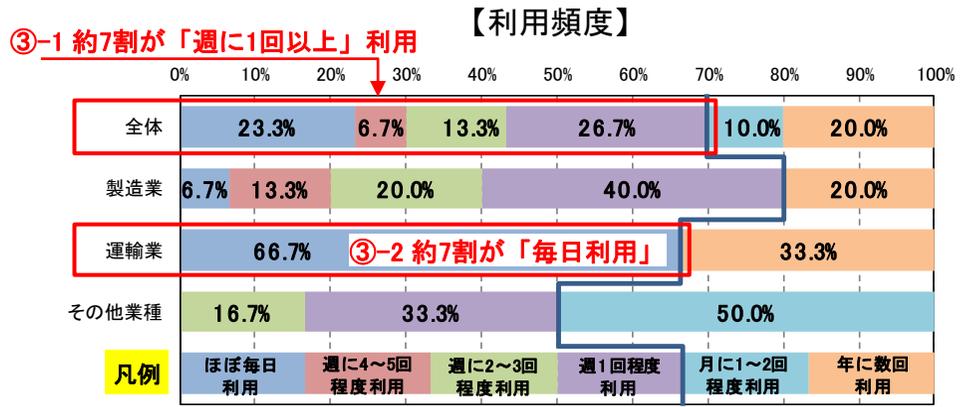
4. 事業所アンケート結果

4-1. アンケート調査概要と利用状況

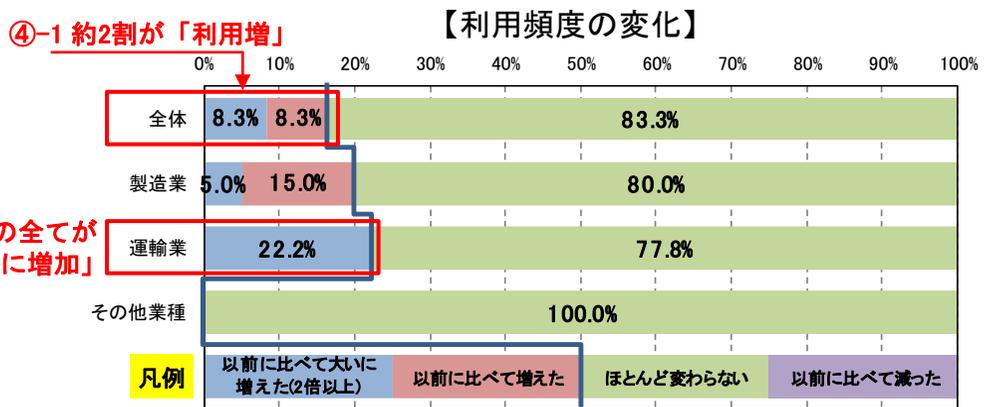
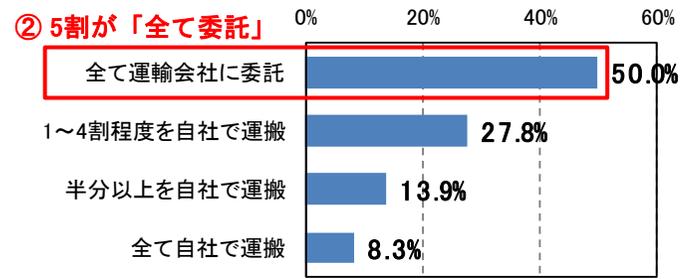
- ① 能美市内に本社・工場のある事業所に対してアンケート票を配布し、**75通(回収率50.7%)**の回答を得た
- ② 製品運搬の自社比率では、「**全て運輸会社に委託**」が5割を占め最も多い
- ③ 『輸送・配送・運送※』における利用頻度は、**約7割が「週に1回以上」**利用しており、「**運輸業**」では約7割が「**ほぼ毎日利用**」
- ④ 利用頻度の変化は、**約2割が「増加」**しており、「**運輸業**」では増えたと回答した**全ての事業所が「以前に比べて大いに増えた(2倍以上)」**と回答

※「全て運輸会社委託のため不明」を除く回答

調査対象	能美市内に本社・工場のある事業所
調査方法	郵送で配布 郵送・Webで回収
調査日時	平成31年4月12日(金) 配布 令和元年5月7日(火) 締切
配布回収数	配布: 148通 回収: 75通 (郵送70通、Web 5通) 回収率: 50.7% ①



【製品運搬の自社比率】



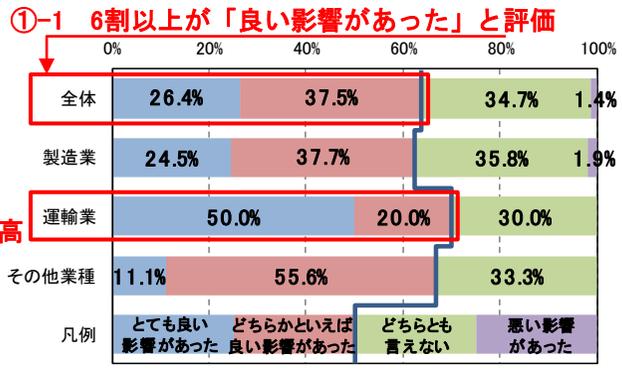
4. 事業所アンケート結果

4-2. 時間短縮や事業活動への影響など

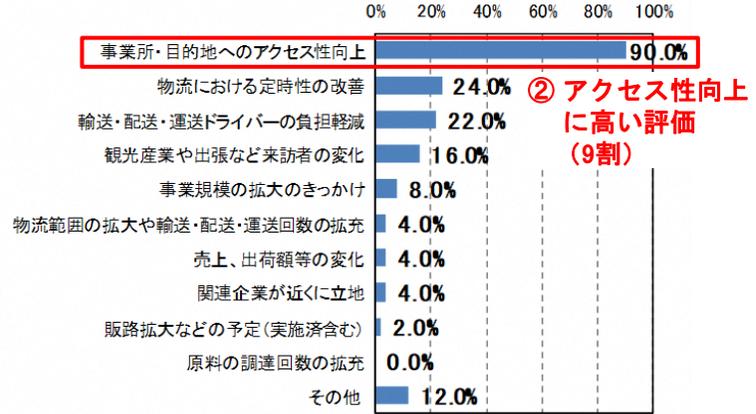
◆事業所の6割以上がスマートICが整備され「良い影響があった」と評価

- ①事業活動への影響は、6割以上が「良い影響があった」と評価しており、特に「運輸業」において評価が高い
- ②良い影響の内容として、「事業所・目的地へのアクセス性向上」が9割で最も多い
- ③移動時間の短縮は、『加賀・福井方面』『金沢・富山方面』ともに、5割以上が「5分以上の短縮」を実感しており、「運輸業」では「15分以上の短縮」の割合が高い
- ④課題・問題点については、8割以上が「特にない(わからない)」であるが、「ICへの案内や入口が分かりにくい」が1割ある
- ⑤スマートICや周辺道路などに対する意見として、「道の駅をつかってほしい」や「飲食施設やコンビニがあるとよい」がある

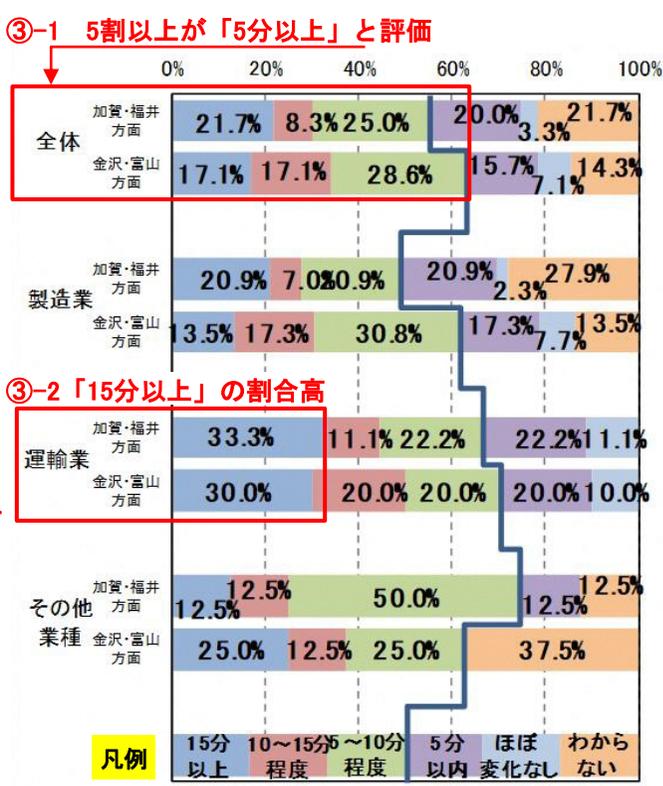
【事業活動への影響】



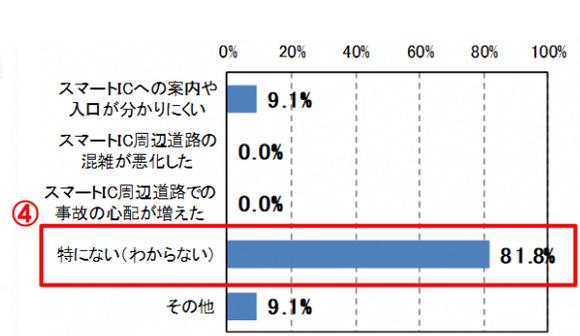
【良い影響の内容】複数回答



【移動時間の短縮】



【課題・問題点】複数回答



【ICや周辺道路等に対する自由意見】

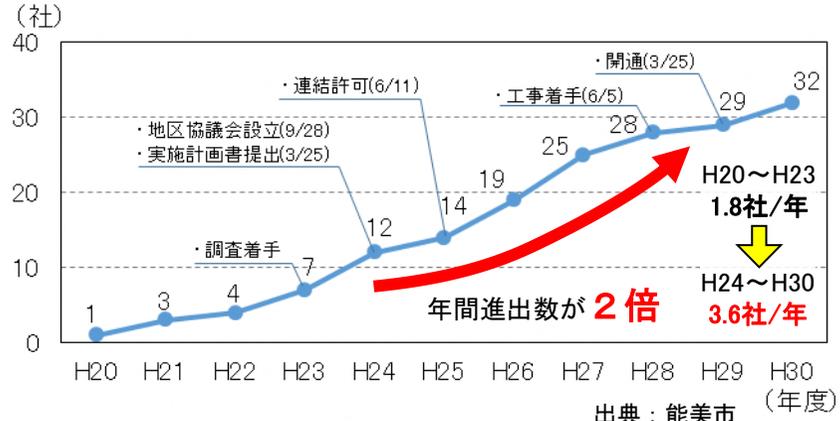
- ⑤
- ・スマートICの近くに道の駅をつかってほしい。
 - ・スマートICの近くに飲食施設、コンビニがあるとよい。

5. 能美根上スマートICのストック効果

5-1. 能美市における企業立地動向

- ① 能美市は第二次総合計画において、基本構想の一つである「基盤産業と地域産業がともに躍動する能美づくり」のもと、企業が集積し、産業が栄えるまちづくりを目標に企業誘致を積極的に推進
- ② スマートIC周辺3kmエリアを中心に、近年企業進出や増設が進み(投資額約680億円)、新規雇用数も増加(約2千人)
- ③ スマートIC開通後3箇所の工業・産業団地が完売し、現在2箇所の流通・産業団地を造成中であり、すでに市内初となるビジネスホテル「(株)スーパーホテル」がスマートIC隣接地に進出を表明

①【市内における進出企業数の推移(累計)】



【能美根上スマートIC周辺の企業進出状況】



②【スマートIC周辺エリアにおける企業投資額と新規雇用数】

■ スマートIC周辺3km範囲内において、平成24年度以降進出・増設のあった企業を対象(予定も含む)

企業投資額	約680億円
用地取得面積	約14ha
新規雇用数	約2千人 ※非正規含む

出典：能美市

企業内訳：(株)アイ・オー・データ機器、(株)金沢村田製作所能美工場、(株)スーパーホテル、(株)司企業、(株)日本ガイシ、(株)日本通運、(株)日野トレーディング(株)北陸支社、(株)富士精工本社、(株)NGKセラミックス(株)石川工場、(株)PALTAC

③【現在造成中の流通・産業団地】

	造成面積	備考
吉原釜屋流通団地	約0.9ha	H31.2 (株)スーパーホテル進出表明
福島産業団地(仮称)	約22.1ha	

参考：経済センサス(2016年)市内事業所従業員総数(公務を除く) 21,678名

5. 能美根上スマートICのストック効果

5-2. 設備投資事例と企業活動への効果

- ① 高速道路へのアクセス性向上が一因となり新たに設備投資をおこなうことが決定し、原材料の受け入れから調合原料の生産、完成品の生産・出荷までを一貫しておこなう生産拠点が誕生すると共に、アジアの生産拠点に調合原料を供給する体制を構築
- ② 遠方も含めた人材確保において、スマートICが企業の求人活動に寄与

【企業の進出理由と設備投資概要】

【企業ヒアリング結果】

事業継続計画(BCP)により世界トップ企業が進出や増設

■日本ガイシ(株)石川工場：2011稼働

《進出理由》

- ・名古屋本社とのアクセスが良い
- ・自然災害に対し、名古屋と同時被災がない
- ・土地、電力、水道、人材などの選定条件に合致

◇自動車排ガス浄化用セラミックスを製造



石川工場 

⇒需要拡大に対応するため、生産拠点である石川工場に、粉体生産設備を新たに導入予定(2020年6月)
 ※セラミックスにおける最初の製造工程である原材料の調合(調合原料=粉体)を行う粉体生産設備は、現在国内では名古屋工場のみ

■NGKセラミックデバイス(株)石川工場：2017稼働

《進出理由》

- ・小牧本社との往来や交通の利便性が高い
- ・自然災害に対し、本社と同時被災の可能性がない
- ・電力、水道、人材などの選定条件に合致

◇車載用高精度NOxセンサーの素子を製造



石川工場 

⇒世界的なディーゼル車の排ガス規制強化や欧州の新規制への対応のため、需要増が見込まれ、石川工場内に新たな製造設備を導入し生産能力体制を強化(2019年4月)

■日本ガイシ(株)：設備投資について

現在、原料である粉体は名古屋から輸送

これまでは、原料である粉体を名古屋工場から輸送し製品を製造

↓

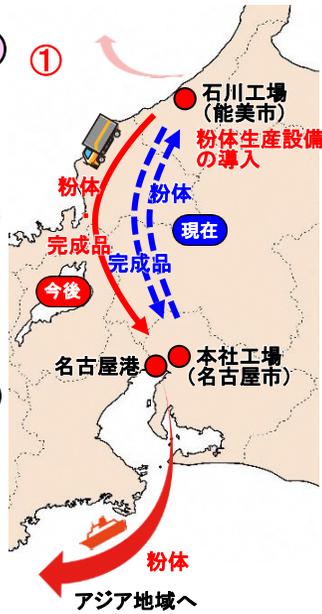
交通環境が充実する石川工場へ粉体生産設備を新設

- ・スマートICなど交通環境の充実が一因となって、石川工場に新たに粉体生産設備を導入することを決定

↓

生産拠点ならびにアジアの供給拠点として重要性高まる

- ・粉体生産設備の完成以降、粉体の生産、完成品の生産・出荷までを一貫して行う工場となり、**当面は名古屋港からアジア地域に粉体を供給する(金沢港の活用も検討)**など主力工場としての重要性が高まる



①

石川工場(能美市) 粉体生産設備の導入

現在

粉体

完成品

今後

名古屋港

本社工場(名古屋市)

粉体

アジア地域へ

■NGKセラミックデバイス(株)：整備効果について

需要増に対応した生産体制強化により拠点としての重要性高まる

- ・完成品を即日出荷するため、時間単位での輸送活動においては**スマートICによる時間短縮効果は貴重**
- ② 人手不足の中、**遠方も含めた人材確保のため、求人の際もスマートICが近いことは良いアピールとなっている**

5. 能美根上スマートICのストック効果

5-3. 能美市への企業進出事例

- ①全国各地への配送拠点として、能美根上スマートICに近い(約800m)吉原釜屋工業団地に進出
- ②企業が多く集積する状況およびスマートICへのアクセスといった交通環境の充実などを理由に、市内初となるビジネスホテルが進出を表明

【企業の進出理由とヒアリング結果】

■(株)アイ・オー・データ機器：2019稼働

◇PC・家電・スマートデバイスの総合周辺機器メーカー



①《進出理由》

- ・金沢市などに分散する物流倉庫(13箇所)を集約化し、在庫管理・配送効率の向上を図る
- ・能美根上スマートICに近い吉原釜屋産業団地に立地することで、**全国各地への好アクセスを実現**

《ヒアリング結果》

本社周辺は主要渋滞箇所が多数存在

- ・従来は、分散する物流倉庫から金沢本社に集荷後金沢西ICや金沢東ICから出荷していたが、配送は混雑している夕方の時間帯なので時間を要した



能美根上スマートICに近く利便性が向上

- ・物流センターはスマートICに近く(約800m)便利
- ・全国各地への配送拠点として、効率化が図られる



出典：国交省

②【市内初となるビジネスホテルの進出】

■(株)スーパーホテル：2021開業予定

◇日本国内主要都市、ミャンマー、ベトナムなどの海外に店舗を展開
国内137店舗・海外3店舗(2019年8月末現在)



《進出理由》

- ・能美市は、多様な分野の**優良企業が多く集積していることから出張客の利用が見込める**
- ・多くの**魅力的な観光施設**があり、2023年春の北陸新幹線敦賀延伸もあり、今後増加が見込まれる観光客を取り込むことができるロケーション
- ・能美根上スマートICは、**能美市の玄関口**であり、臨海部の工業地帯と手取川沿線の工業地帯からの**アクセスが良い最高の立地状況**
- ・計画するホテルの**東側からは霊峰白山から昇る朝日を、また西側からは日本海に沈む夕日を眺望することができる、稀有な立地環境**である

《施設概要》

- ・9階建て、客室数 126室

吉原釜屋流通団地 約0.9ha



(株)スーパーホテル